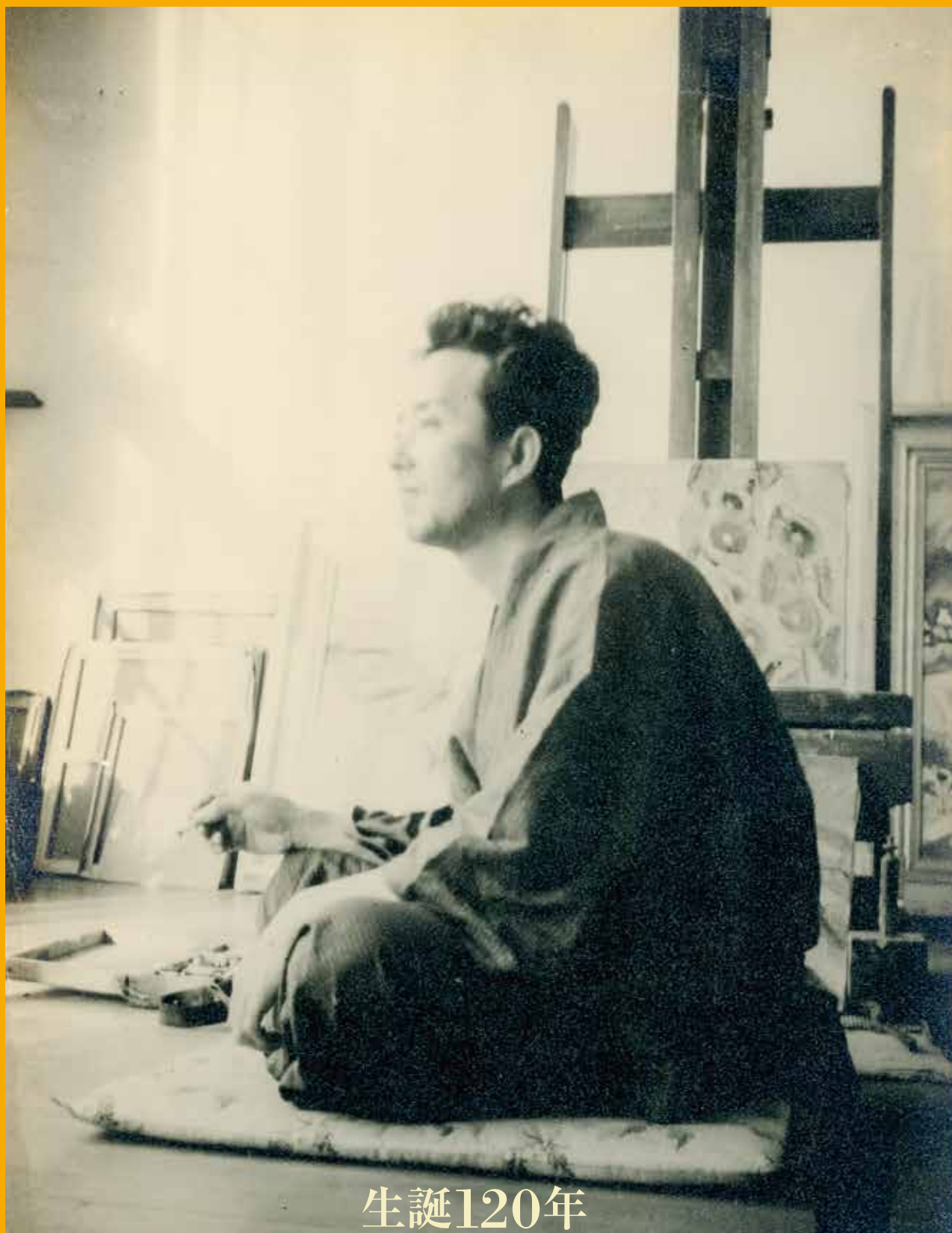


PROFILE OF NOGUCHI KENZO

120 YEARS OF BIRTH

2021.5/1-7/18

HIGASHIOMI CITY OMI MERCHANTS MUSEUM



生誕120年

洋画家

野口謙蔵の横顔

令和3年5月1日(土)~7月18日(日) 会期中の休館日/毎週月曜日(5月3日は開館)、5月6日

入館料/大人300(250)円、小中学生150(100)円 ※()内は20名以上の団体料金

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

生誕120年 野口謙蔵の横顔

洋画家

野口謙蔵は、終生故郷の蒲生野の風景や人びとの暮らしを愛した洋画家です。

明治34年(1901)、蒲生郡桜川村綺田(現・東近江市綺田町)の江戸時代から代々醸造業を営む近江商人の家に生まれ、東京美術学校(現・東京芸術大学)で洋画を学びました。

当時、多くの画家は中央画壇の東京で活動し、芸術の都パリに留学する者も多くいましたが、謙蔵は「どうしてみんなフランスに行きたがるのか、滋賀県にもこんなに見あきぬ美しいところがいくらでもあるのに」と語り、四季の美しい情景を見せる蒲生野の風物を描き続けました。帝展や東光会などで活躍し、高い評価を得ますが、昭和19年(1944)に43歳の若さで亡くなります。

本展では、生誕120年を記念して、東近江市の所蔵資料を中心に野口謙蔵作品のほか彼が残した日記や書簡、歌集などの関連資料を展示し、その生涯をたどるとともに、日本画修養時代や歌人との交流など、多様な野口謙蔵の姿を紹介します。



「夏の蒲生野」



「喜雨来」(絶筆)



「水村清明」



「風をよここぶ」



野口謙蔵装幀の歌集と遺歌集「凍雪」(写真右上)

ギャラリートーク

講師：名都美術館館長 石丸正運氏
日時：6月12日(土)14:00~14:45

中路融人記念館で同時開催

「中路融人 三輪良平展 —まなごしの先に—」
会期：4月17日(土)~6月13日(日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発熱・咳の症状など、体調不良の方はご来館をお控えください。また、ご来館の際にはマスクを着用し、手洗いや手指消毒など、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。事情により予定が変更になることがあります。最新の情報は、当館のホームページでご確認ください。



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <https://e-omi-muse.com/omishounin-boy.html>

■開館時間／午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日／月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり

■入館料／大人300円(250円)小中学生150円(100円)※()内は20名以上の団体料金

■交通機関／・JR琵琶湖線 能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」または「ふらざ三方よし前」下車徒歩約15分

・近江鉄道 五箇荘駅から徒歩約25分

・名神高速道路 八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、

湖東三山SICから車で約25分、竜王ICから車で約30分、

彦根ICから車で約40分

